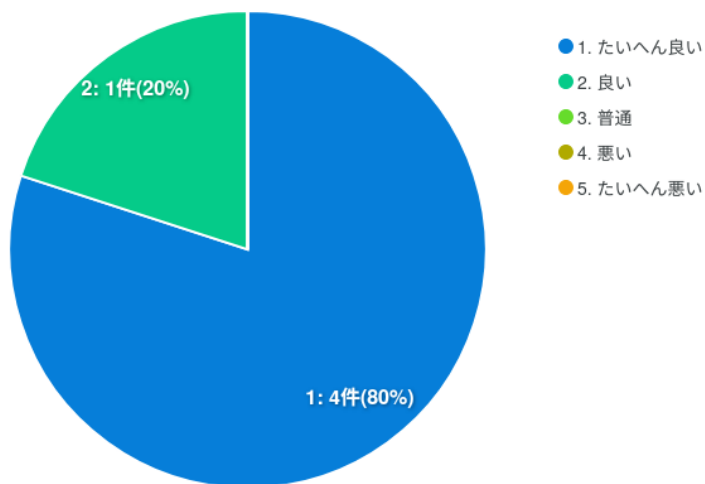
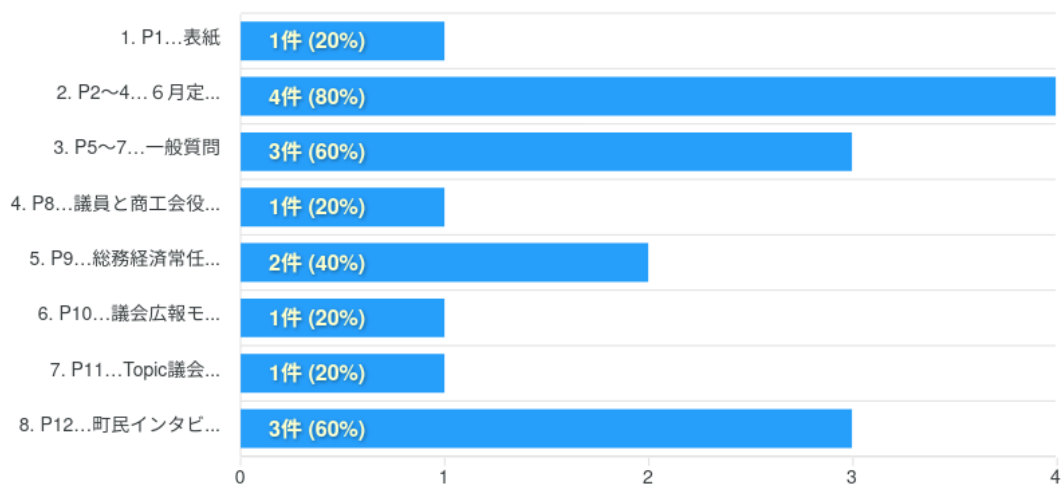


議会だより 124号 R8.8月号 議会広報モニターアンケート集計結果

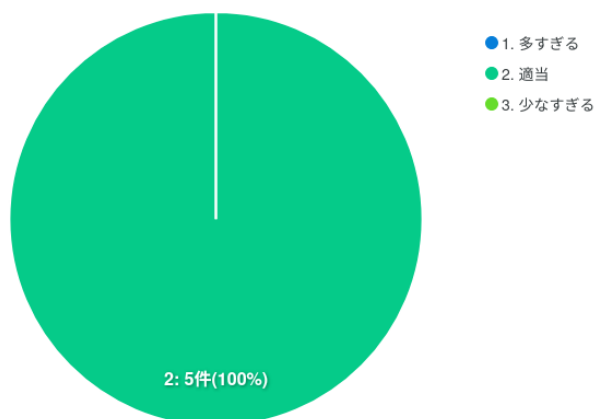
今回の議会だより全体の評価は？



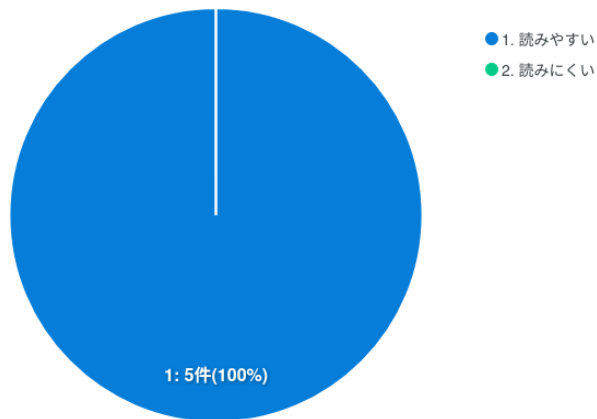
今回の議会だよりで関心のある項目はどれですか？（複数選択可）



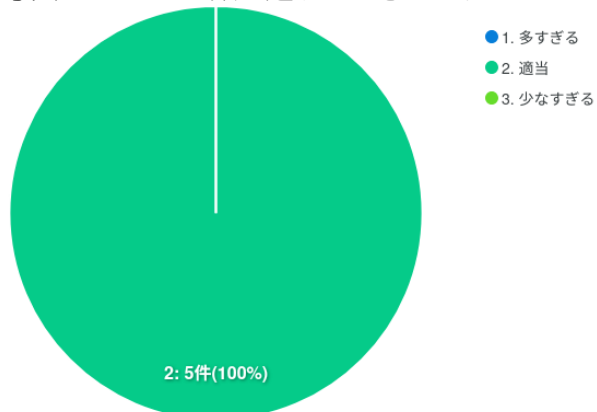
情報量（ページ数）について



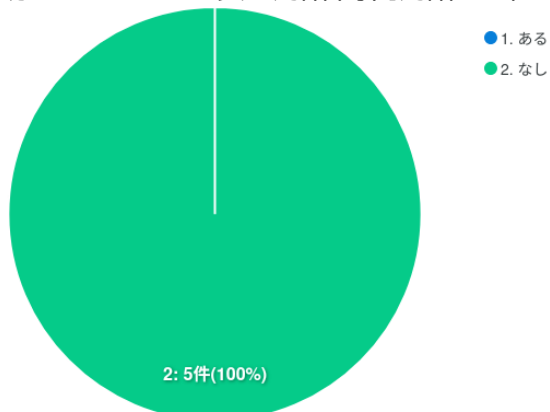
文字の大きさ・配置・フォントは読みやすいですか？



写真やイラストの数は適切だと思いますか？



説明があったほうが良い用語（専門用語など）はありますか？



Q. 説明があった方が良い用語(専門用語など)

- なし

Q. 今後、議会だよりで掲載した方が良い内容や特集

- 読者のターゲット
- 町が今どのような戦略で、その魅力をアピールしているのか、モデルルートなどが気になります。ふくしのまちづくりの他にも多方面でのアピールが必要だと思います。そこで、「未来づくり戦略室」の挑戦を特集として連載化すると、我々も町の良いところやアピールポイントを深く理解できるのではないかと思います。
- 今回の広報誌では、和寒町の資金や税金が何に使われているかがよくわかりました。もうしていただらごめんなさい。その後どうなったか、何が良くなったかなど、(時間がかかって反映されるものもあるとは思いますが)例えば小学校グラウンド整備のその後、子どもたちの様子や反応など知りたいなと思いました。
また、「未来づくり戦略室の挑戦」―目指せふるさと納税1億円―の今後も追いたくなりました。

Q. 議会だより全体や、議会に対しての意見・感想など

- 議会広報コンクール 4回目の入選おめでとうございます。地域住民からの意見聴取などが評価されたのですね。素晴らしいですね。
どんな内容が惹きつけられるのか、魅力の追求ですね。
今回の表紙は大変躍動感が伝わりました。また、11 頁の今回の表紙の説明には、別の写真が使われているのが素晴らしいです。
同じ写真の使い回しが気になっていました。
自治会連合会との意見交換会の写真は No.123 号でもつかわれています。議員と商工会役員の意見交換会、議場の様子もほかの紙面で使われています。
3 頁 整備、営繕について、写真であったりイラストであったり、とても見やすく分かりやすいです。
新たに未来づくり戦略室が開設され、その役割についても分かりやすい文書だと思います。
町広報誌とあわせてアピールして下さい。
使っているフォントについては、いつかのたよりで見た気がします、万人受けする文字を使っているのだと思います。
議会白書が令和5年から毎年発行されているのは、知りませんでした。
子どもたちにも見てもらえるような内容は難しいでしょうが、例えば、ウォーリーを探せじゃないですけど、紙面の至る所に、キャラクターやマークをつけて見つけてもらうとか、謎かけ的なものを載せてみるとか。
網掛け、太字のほか、下線、横線、波線、二重線、文字色、囲み線などを使い分けることで、文書や文章が更に分かりやすくなるかも知れません。
- 他の市町村がどのような取り組みで地域を盛り上げているかを知ること、で、「うちの町でも実践できるのではないか」と様々なアイデアが湧いてくるため、視察報告の記事は非常に勉強になりました。

本誌を読んで意見や感想を持つ町民は多くいると思いますので、より気軽に、手軽に意見を寄せられる仕組みがあれば良いのではないかと感じました。

未来づくり戦略室が、今後どのような取り組みを展開していくのか期待しております。

各所写真を添えてくれているので、とても読みやすくありがたいです。このスタイルを続けて欲しいです。

- 最近、ある小学生や町民の方々から「グラウンドの水はけの工事や公園の工事は子どものためだとは思うけど、もっとみんなのために町のお金を使ってほしい」という意見や、「駅のトイレをなおしてほしい」という意見をちょうど聞いたところだったので、今回の広報誌はとってもタイムリーでした。

町だけに留まらない問題や、どんな問題がありどう取り組んでいるのかがわかりました。

また、今回の広報誌を読むことで、議員さん達が町民の声を反映してくれていたり、こういった取り組みで和寒町をよくしようとしているかをわかりやすく知ることができました。

町民インタビューの記事では、恥ずかしながら「青年のつどい」という活気あふれる町づくりの取り組みを初めて知りました。これからの和寒町を担う若者達が交流できる素敵な場を設けている和寒の取り組みを知ることができました。